SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified

Environmental Product Declaration

In conformance with

ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

LIXIL

株式会社LIXIL

LIXIL Corporation

revia（レビア）

revia







本検証の素材「レビア」を使用したパネルの写真を使用しています

本EPDは発売前の製品、または発売後1年未満の製品を対象とし、類似製品の一次データや推計値等を用いて算定したEPDであり、EPDに不確実性を伴います。検証の有効期間は2年間であり、原則としてこの期間内に通常のEPDが発行されます。

登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2609-257-1	2026/9/17	2026/11/2	2028/9/16	単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格
ISO21930：2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
https://ecoleaf-label.jp/epd/search

Initial EPD

●基本情報

＞プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

＞GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-2
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

＞検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	□ 内部	■ 外部	
	■ 検証員による第三者検証	□ 検証機関による第三者検証	□ EPDシステム認証による第三者検証
検証実施者（所属）	奥山哲也（オフィスオクヤマ）		

＞準拠規格

準拠規格	■ ISO14040:2006	■ ISO14044:2006	□ ISO14067:2018
	■ ISO14025:2006	■ ISO21930:2007	■ ISO21930:2017
	□ EN15804+A2	□ EN50693:2019	□ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。
EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。
加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	株式会社LIXIL環境推進統括部 環境推進部
住所	東京都品川区西品川1-1-1 大崎ガーデンタワー 24F
問い合わせ先	lixil-hq-kankyo@lixil.com
LCA算定実施者（所属）	株式会社LIXIL LHT サステナビリティ企画推進部 今泉 直人
事業者概要	LIXILは、世界中の誰もが描く住まいの夢を実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。

●製品情報

製品名称（日・英）		revia（レビア）		
製品の型式		–		
製品仕様	製品質量	1kg	換算係数	
	製品の用途	エクステリアデッキ材、舗装材等		
	技術性能	商品カタログの記載に準ずる		
耐用年数	年数	22年		
	使用条件	住宅用途		
	年数を設定した根拠	木造・合成樹脂造の建物(店舗用・住宅用のもの)の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。出典:国税庁「主な減価償却資産の耐用年数表」		
製造サイト（製造拠点）		㈱久居LIXIL製作所 久居工場 （三重県津市）		
製品概要		再資源化が困難な廃プラスチックと、建物などで使われていた廃木材を組み合わせた、限りある資源を活用する新素材 詳細は商品カタログの記載に準ずる		
製品ウェブサイト		https://www.lixil.co.jp/lineup/s/revia/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
廃プラスチック	56.8	0.57	kg
廃木粉	18.2	0.18	kg
添加剤	25.0	0.25	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
–	–	–	kg
–	–	–	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO_2 eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.08	0.30
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	–	–

Initial EPD

●LCA 関連情報

＞EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	■ 単一製品	□ グループ製品	□ 業界製品
	サイトタイプ	■ 単一サイト	□ 複数サイト	
地理的範囲		日本		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		生産工場 1工場で生産しており、製品1kgを生産するそれぞれの項目の活動量を算出し、IDEA係数を掛け合わせている。電力については日本の系統電力のデータを用いている。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		–		
複数製品EPDの説明		–		

＞LCA関連情報

宣言単位		kg		
宣言単位当たりの質量（質量への換算係数）		1kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		-		
システム境界		■ Cradle-to Gate	□ Cradle-to-Gate with options	□ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		MiLCA ver.1.2.3.1		
LCIデータベース		IDEA v3.4		
特性化モデル		GWP IPCC2021 100a、 LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		無し		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044： 2006（環境マネジメント－ライフサイクルアセスメント－要求事項及び指針）の4.2.3.6 に従って行った。		
一次データ収集拠点		㈱久居LIXIL製作所 久居工場		
一次データ収集期間		直近上市した商品の試作段階の生産実績（使用設備ごとの電力量や水使用量）をベースに、2028年度の生産量見込みで算出したデータ		
生物由来炭素の取り扱い		□ 0/0アプローチ	■ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	■ 国や地域の平均的な電力ミックス	□ その他	
	種類	–		
	購入日	–		
	発行元	–		

＞算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

■ ：算定対象　– ：算定対象外

＞アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアローケーションを検討した。結果revia製造プロセスにおいては全て同一でありアロケーションは実施しない。

＞カットオフ

カットオフしている項目は無し。

＞システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、A4～Dをシステム境界外としている。時間的システム境界は100年である。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた研究開発や事務等に係るプロセスはシステム境界外としている。

＞シナリオ

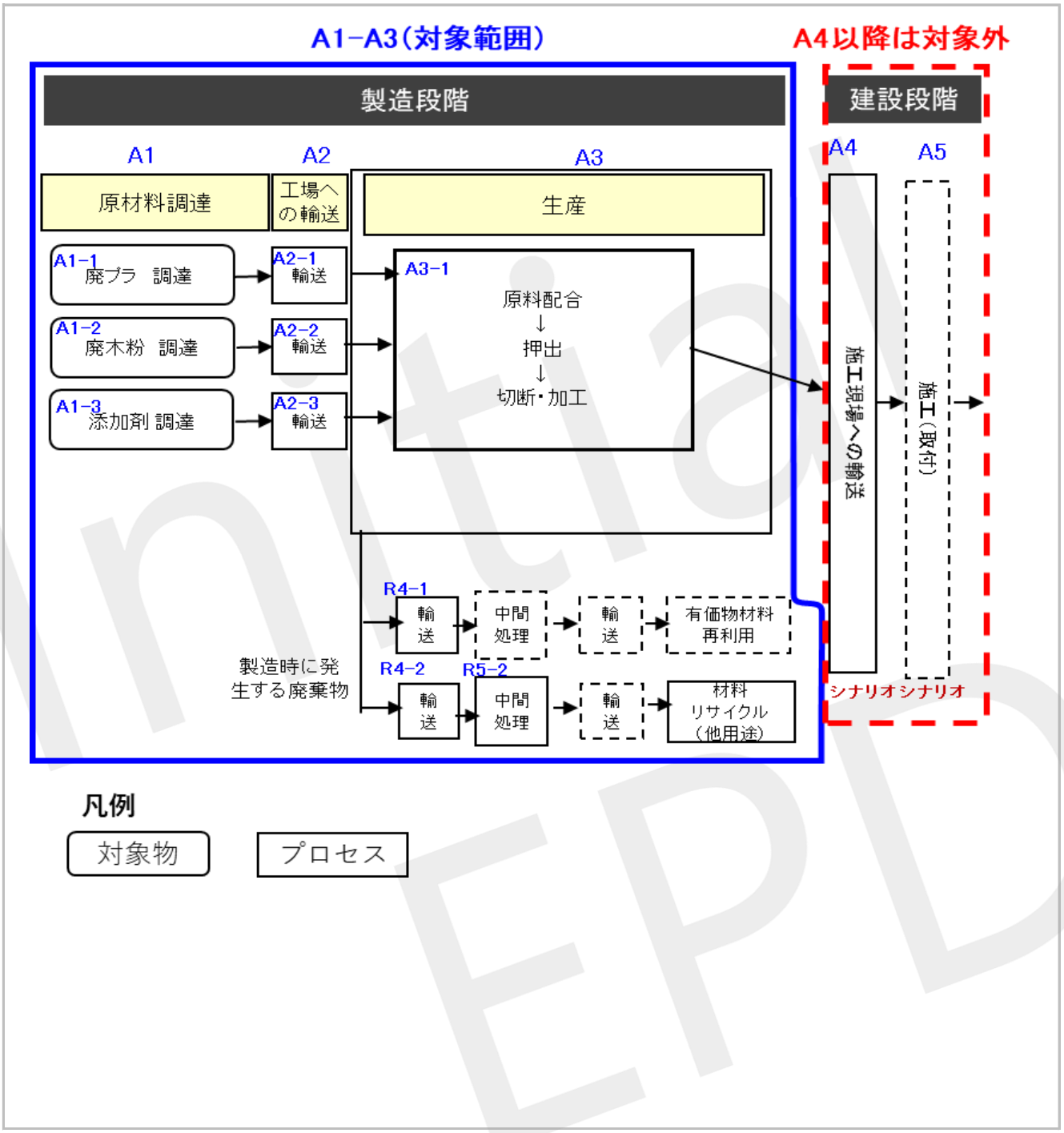
モジュール	説明
A2、A3	輸送については実際の輸送距離及び輸送手段・積載率で算定しているためシナリオの使用は無し。

＞電力モデリング

久居工場の電力については2021年における日本平均の系統電力のデータを使用した。

Initial EPD

＞ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
気候変動 - 合計	kg-CO_2eq	-1.40E-01	6.20E-02	2.14E+00	2.07E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
気候変動 - 化石由来	kg-CO_2eq	7.94E-01	6.19E-02	1.51E+00	2.36E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
気候変動 - 生物由来	kg-CO_2eq	-9.37E-01	1.36E-05	6.36E-01	-3.00E-01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO_2eq	2.98E-03	6.75E-05	1.97E-03	5.02E-03	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	6.10E-08	3.06E-12	8.67E-08	1.48E-07	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
富栄養化	kg-PO_4^3-eq	8.18E-04	2.99E-10	1.90E-07	8.19E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
酸性化	kg-SO_2eq	8.70E-04	9.25E-05	1.46E-03	2.42E-03	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
光化学オキシダント生成	kg-C_2H_4eq	2.88E-05	6.19E-07	2.46E-05	5.40E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
追加オプションのライフサイクル影響評価指標																			
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	8.52E-06	2.80E-10	7.60E-06	1.61E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO_2eq	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再生可能一次資源 - エネルギー（RPR_E）	MJ	1.90E+00	4.01E-04	1.44E+01	1.63E+01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（RPR_M）	MJ	3.33E+00	5.87E-07	2.92E-04	3.33E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
非再生可能一次資源 - エネルギー（$NRPR_E$）	MJ	9.19E+00	6.78E-01	4.47E+01	5.45E+01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（$NRPR_M$）	MJ	8.89E+00	2.45E-06	1.88E-02	8.91E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
二次材料	kg	3.44E-03	2.58E-07	1.87E-03	5.32E-03	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
再生可能二次燃料	MJ	7.06E-02	1.82E-07	1.96E-04	7.08E-02	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
非再生可能二次燃料	MJ	2.00E-02	1.16E-06	5.25E-04	2.06E-02	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
回収エネルギー	MJ	9.84E-03	1.95E-06	7.53E-02	8.52E-02	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
非生物資源枯渇-化石	MJ	1.77E+01	8.38E-01	2.07E+01	3.92E+01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
淡水の消費	m^3	3.66E-01	1.76E-06	6.25E-04	3.66E-01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
追加オプションのライフサイクルインベントリ分析結果																			
焼成による排出と中性化からの吸収	kg-CO_2eq	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞廃棄物関連情報

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物	kg	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
無害廃棄物	kg	8.01E-03	6.13E-05	5.01E-03	1.31E-02	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
高レベル放射性廃棄物	㎥	1.16E-11	2.53E-15	8.83E-11	9.99E-11	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
中および低レベル放射性廃棄物	㎥	4.84E-09	1.06E-12	3.69E-08	4.18E-08	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞出力フローに関する環境情報

			資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
									資材関連					光熱水関連						
			A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再利用可能な部品		kg	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
リサイクル用材料		kg	0.00E+00	0.00E+00	2.00E-04	2.00E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
エネルギー回収用材料		kg	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物からの排出エネルギー（エネルギー回収効率≧60%）		MJ	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物の焼却（エネルギー回収効率＜60%）	廃棄物焼却処分量	kg	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	回収エネルギー	MJ	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物の埋立て（廃棄物の埋立てにより発生する埋立ガスからのエネルギー回収）	廃棄物埋立処分量	kg	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	回収エネルギー	MJ	–	–	–	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞LCA算定結果に関する説明

・本EPDにおけるLCA算定では、製造サイトの活動量は直近上市した商品の試作段階の生産実績（使用設備ごとの電力量や水使用量）をベースに、2028年度の生産量見込みで算出した一次データ使って算定したため実際と乖離する可能性があります。また、それに乗じるLCIデータには、一般的な二次データを使用しています。そのため、結果は概算値となります。輸送については実際の輸送距離・輸送条件に従って算定しています。
・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。https://ecoleaf-label.jp/epd/

●追加環境情報

＞LCAに関連しない追加環境情報

今回算定対象の久居工場はISO14001を取得しています。
個々の工場としてではなく日本の工場一括で取得しています。
審査登録証登録番号：JMAQA-E382

＞有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
–		

建材および建設製品からの危険物質の放出
–

●用語の定義

–

●参考文献

・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
・ISO21930:2007、ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services
・建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン（林野庁）

●改訂履歴

–

Initial EPD